

Qt フォント描画ソリューションの提供を開始

株式会社アイ・エス・ビー(本社:東京都品川区、代表取締役社長:若尾逸雄)は、このたび、ダイナコムウェア株式会社^(注)(本社:東京都千代田区、代表取締役:羅 慧美)の組み込み機器用軽量スケーラブルフォント及び、フォント描画エンジン(ラスライザ)を“Qt”(キュート)に実装するソリューションの提供を開始いたします。

当社は、マルチプラットフォームの開発ツールである Qt について、Qt Company の正規リセラーとして長年にわたりライセンスの販売及び、導入されるお客様に対するエンジニアリングサポートを行ってまいりました。Qt は、1つのソースコードで Linux/RTOS/Windows/iOS/Android などのマルチプラットフォームに展開が可能なソフトウェア開発ツールであることや、スケーラブルなユーザインターフェイス開発が容易なことから、近年、FA 分野や医療機器、通信機器等の分野において積極的に活用されている背景がございます。

しかしながら、Qt のフォント描画についてはそれらのプラットフォームに依存しているため、アプリケーション上で同一品質の描画が実現できていないのが現状でした。

これに対し、今回提供するソリューションにおいて、フォント描画に関する最適化を行うとともに、ダイナコムウェア株式会社のフォント描画エンジンを Qt に実装することによって、組み込み機器用に最適な描画品質と描画速度が実現できるだけでなく、マルチプラットフォーム間のフォント描画の非一致を防止できるため、開発効率の向上、検証コストの削減、が期待できます。さらに、軽量フォントとの相乗効果でアプリケーションの起動時間短縮など、最終製品の訴求力向上も実現可能です。

当社は、今後、組み込み機器メーカー様などを中心にデモンストレーションを実施、また、展示会等の方法により、広く周知して予定です。

- Qt フォント描画ソリューション
提供開始予定:2018年5月

- 用語説明
Qt(キュート)

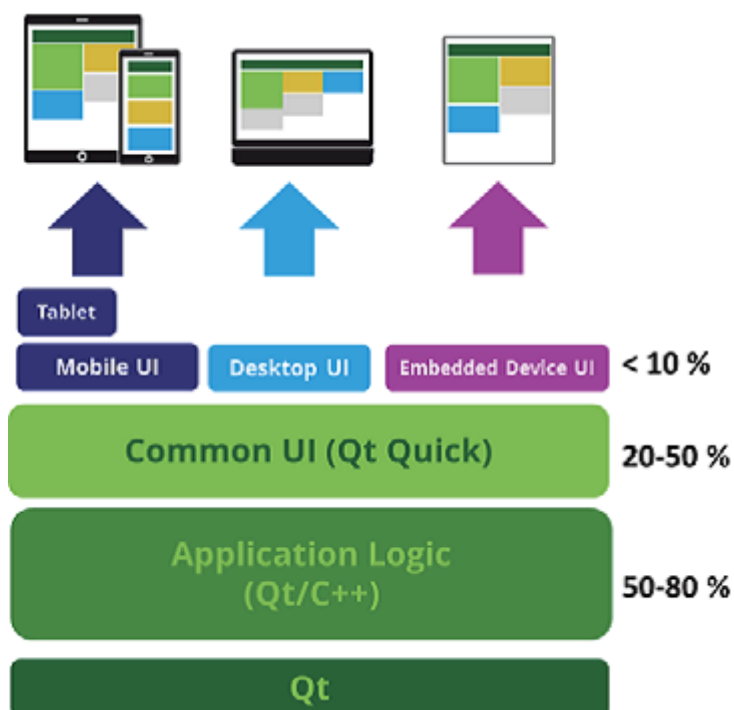
Qt は Linux/RTOS/Windows/iOS/Android など複数 OS に対応するマルチデバイス開発、組み込み機器やアプリケーション開発向けのクロスプラットフォームアプリケーション・UI フレームワークです。C++による GUI/HMI 開発フレームワーク Qt はクロスプラットフォームの C++クラス Qt ライブラリと統合開発環境の Qt Creator IDE などのツールで構成されており、Qt Quick、C++、HTML5 またはそれらの組み合わせによって UI を開発することができます。

特長

- ・ 直観的な C++クラスライブラリ
- ・ クロスプラットフォーム IDE も含めた統合 開発環境
- ・ 組み込みでの 高いランタイムパフォーマンスと小さなフットプリント
- ・ デスクトップおよび組み込みオペレーティングシステムへの高い移植性
- ・ Internationalization(国際化)に対応しており多言語への対応が容易

当社が展開します Qt の詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://www.isb.co.jp/solutions/qt/>



(注)ダイナコムウェア株式会社

同社は、自社ブランド製品「ダイナフォント(DynaFont)」を最新のフォントテクノロジーにより開発し、台湾・日本市場において高いシェアを誇るグローバルフォント企業。台湾を母体に、日本や香港、中国大陸などに支社を持ち、フォントの応用範囲やシステム・プラットフォームでの文字利用の可能性の拡大などに挑戦していく姿勢が各国の消費者の方々からも評価されています。フォントデザインを通し生命力のある文字で感情と文化を繋ぎ、伝えていくことを使命としています。詳細は、ダイナコムウェア Web サイト(<http://www.dynacw.co.jp>)をご覧ください。

◆本記事に対するお問い合わせ先:

(株)アイ・エス・ビー プロダクト営業推進部

TEL 03-3490-7052 FAX 03-3490-5051

E-Mail: proservices@isb.co.jp

Web: <http://www.isb.co.jp/>

※その他の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

※記載された内容は 2018 年 5 月現在のものです。

記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。